



第37回PFFぴあフィルムフェスティバル
【コンペティション部門】
PFFアワード2015
～最前線20作品が競う～

【招待作品部門】
特集 サミュエル・フラー
～誰もが憧れた奇跡の作家～

映画内映画
～映画は映画をつくることを
どのように描いてきたか～

特別企画
世界が絶賛した
日本の短編たち

【PFF講座シリーズ】
映画のコツ
～こうすればもっと映画が輝く～

映画は戦場だ

by サミュエル・フラー

2015.9.12[土]-24[木] 東京国立近代美術館
フィルムセンター *月曜休館

主催: PFFパートナーズ **ぴあ** **ホリプロ** **NIKKATSU** / **UNI/JAPAN** 公益財団法人ユニジャパン
共催: **東京国立近代美術館フィルムセンター** 特別助成: **映画演劇文化協会** 特別協賛: **SEGA-SAMMY GROUP** **CoFesta**
PFFサポーターズ: **KLOCK WORK** **TOPPAN** **BS日本映画専門チャンネル** **ROBOT** **朝日新聞** **三井住友VISAカード** **DOLBY** **JCB** **夜祭限定** **DISK GARAGE** **IJmio**
後援: 一般社団法人 日本映画製作者連盟 / NPO法人 映像産業振興機構 (VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会 協力: 日本映画ベントラブ

<http://pff.jp/37th/>

【コンペティション部門】

PFF Award 2015

～最前線20作品が競う～
グランプリノミネート20作品から栄冠を獲得するのはどの1本?
映画の殿堂フィルムセンターに若い才能が集結!

「PFFアワード」は、1977年から変わらず「自主映画」を応援するコンペティション。誰にも頼られないのに、映画をつくらずにはいられない。その衝動を、情熱を、希望を、より多くの人に伝えたい。本年は577本の応募作の中から、約4ヶ月の厳正な審査を経て選出された20作品を、フィルムセンターの大スクリーンでお披露目上映します。各回、監督、キャストらも来場し、生の声を聴くチャンスも!そしてそして、あなたの投票で賞が決まる「観客賞」も!



577本から選ばれた20本を上映「PFFアワード」

たとえば過去に、こんな話題作を放ったこんな監督たちが入選しています。黒沢 清「岸辺の旅」、園子温「新宿スワン」、李 相日「悪人」、荻上直子「かもめ食堂」、内田けんじ「アフタースクール」、石井裕也「舟を編む」ほか(敬称略)

PFFアワード2015各賞

グランプリ(副賞100万円)、準グランプリ(副賞20万円)、審査員特別賞(副賞10万円/3作品)、
映画ファン賞(ぴあ映画生活賞)、エンタテインメント賞(ホリプロ賞)、ジェムストーン賞(日活賞)、観客賞
特別設置: 日本映画ベントラブ賞



2014年観客賞は「ガンバレとかうるせえ」(監督・佐藤快磨)が受賞



あなたも審査員に! 「観客賞」に投票しよう。

ご来場いただいたお客さまの投票により決定します。



製作者に直接、 感想を伝えられる質疑応答タイムも!

PFFアワード2015 入選監督のみなさんです。

昨年の質疑応答の様子

最終審査員5名は決定次第、HPにて発表します。

第37回 PFF

検索

20枚限定！ お得なフリーパスで PFFアワード2015全作品を観よう。 貴重な表彰式チケットと、 映画祭カタログの特典付き！

※フリーパスは、毎回座席指定券との引き換えが必要です。
各回上映時間の30分前から、1F当日券窓口にてお引換えください。

※監督の年齢は応募時のものです。 ※上映後、来場監督とのトークを予定しています。



PFF Award Program

▶9/13[日]11:00～
▶9/18[金]15:30～

『嘘と汚れ』 92分/カラー

監督: 猪狩裕子 (30歳/東京都出身)

勇気を出せなかったゆえに広がる罪

自分の失敗を同僚の老人に結果的になすりつけた女性ゆい。自責の念と自己弁護が渦巻く彼女の内面を背中中で表現させ、その「汚れ」を観客に突きつける、長回しの力作。

『わたしはアーティスト』 24分/カラー

監督: 藪下雷太 (31歳/京都府出身)

それって、フツーじゃん！

友達のいない高校生の沙織は自撮りのビデオアート作りに夢中。という孤高の自己陶醉ぶりを揶揄する、もうひとりの私。非凡と凡庸に揺れる、ラブリーでキュートな成長物語。

PFF Award Program

▶9/13[日]14:15～
▶9/17[木]12:00～

『チュングリア』 37分/カラー

監督: 峯 達哉 (26歳/奈良県出身)

スプラッター+ゾンビ+亀！

映画「念力先輩」を観ると、外はゾンビが跋扈！ 僕を「先輩」と呼ぶ女の子と川を目指す。予測不能な展開と愛や宇宙論にまで広がるセリフが、麻薬のように観客を痺れさせる。

『大村植物標本』 19分/カラー

監督: 須藤なつ美 (24歳/東京都出身)

死んだおじいちゃんの影を求めて

祖父が遺した植物標本に魅せられた少女チズは、会ったことのない祖父の影を求める。煙草を吹かすチズの年齢不詳感と仰天のラストで、多くの境界線をすんなり越える異色作。

『THE ESCAPE』 67分/カラー

監督: 島村拓也 (25歳/東京都出身)

つねに誰かに監視されている恐怖

ある日、突然、何者かに執拗に狙われる。つねに監視されている恐怖がじわじわと迫り、ついに逃亡を決意するが…。画面に映るすべてが不穏な空気に満ちる真正ホラー。

PFF Award Program

▶9/15[火]15:00～
▶9/22[火・祝]11:00～

『いさなとり』 91分/カラー

監督: 藤川史人 (30歳/広島県出身)

かつて鯨が泳いでいた町で、生きる

広島県三次市。化石探しに熱中する中学生男子は、町の歴史に触れ、身辺の変化も体験。ドラマとドキュメンタリーなど、いくつもの素材を融合させ、土地と時間を描く意欲作。

『幽霊アイドルこはる』 35分/カラー

監督: 井坂優介 (26歳/茨城県出身)

死んでもアイドルになってやる！

高校生こはるは、目覚めると幽霊になっていた！ 靈感がある人だけに見えるアイドルとして大人気！ 現実逃避を続けてきた女の子の逆転成功物語を描くコメディ・ホラー。

PFF Award Program

▶9/15[火]11:30～
▶9/22[火・祝]14:30～

『したさきのさき』 45分/カラー

監督: 中山剛平 (24歳/高知県出身)

彼の唾液をなめつくしたい

高校生の咲紀は智哉に片思い。彼の唾液に触れたい願望が抑えられずエスカレートしていくが…。思春期の痛さを咲紀と同級生たちを通してスリリングに描く、青春残酷物語。

『船』 16分/カラー

監督: 中尾広道 (36歳/大阪府出身)

メダカとドライブと小舟で宇宙を見せる

メダカを愛する都会暮らしの青年3人は、拾ったかわいい小舟を川に流すため、奈良の山へ。心地いい音楽に乗ったのどかなドライブが人生&宇宙讃歌へと広がっていく快感！

『帰って来た珈琲隊長』 52分/白黒

監督: 佐々木健太 (30歳/北海道出身)

戦争中の生体実験と現代恋愛話の融合！

娘の体を借りた亡き隊長が元部下を訪れ、戦時の生体実験の記憶と現在の恋愛話が交錯する。重さと軽さを絶妙に織り込みつつエロスも濃厚に漂わせた、8mmフィルムの異色作。

PFF Award Program

▶9/16[水]11:30～
▶9/20[日]14:30～

『あるみち』 85分/カラー

監督: 杉本大地 (21歳/東京都出身)

僕たちが辿ってきた日々を見つめる

トカゲ獲りに夢中だった小学生時代。念願の美大には入ったけど、トカゲ獲りのあのワクワクはどこに？ 友や母との何気ないやりとりや間合いが臨場感あふれる平成男子物語。

『甘党革命 特定甘味規制法』 38分/カラー

監督: 諸星厚希 (21歳/広島県出身)

独裁政治に今こそ革命を起こせ！

この国ではチョコレートが厳しく規制され、今や政府による甘党掃討作戦が進行中。日本甘党過激派のゲリラ青年たちと家出娘は、スニッカーズを食べつつ革命を目指す！

PFF Award Program

▶9/16[水]15:00～
▶9/20[日]11:00～

『ひとつのバガテル』 72分/カラー

監督: 清原 惟 (22歳/東京都出身)

音楽の効能と真摯に向き合う

少女アキは、ピアノで繰り返し同じ曲を弾く。さまざまな人の感情や言葉を受け止めながら彼女がプシないのは、音楽という道しるべがあるから。音楽の意味を映画で探る野心作。

『みんな蒸してやる』 41分/カラー

監督: 大河原 恵 (21歳/東京都出身)

主演も兼ねる監督の切実なる妄想、爆発！

エビ焼売屋で働くカヨコ。かかしになりたい男。おかしみあふれる人々とセリフが次々に登場し、主演も兼ねる監督の妄想センスが田園風景を背景に細部まで爆裂、爆笑の渦に。

PFF Award Program

▶9/12[土]11:00～
▶9/17[木]15:30～

『モラトリアム・カットアップ』 38分/カラー

監督: 柴野太朗 (22歳/新潟県出身)

ゆく川の流れば絶えずして現代版

20歳のフミヤは徹頭徹尾アナログ人間、いわば過去に生きる青年だ。思い出話と妄想を現実の地平線上に自由自在に挿入しながら、万物流転をポップに描いた青春コメディ映画。

『マイフォーム』 15分/カラー

監督: 跡地淳太郎 (28歳/青森県出身)

確かに存在した時間を心に焼きつける

亡き祖父の家で写真を撮り、古いアルバムを開く。家族の記憶が込み込み家で、彼女は祖父から確かにバトンを受け取る。セリフ無しで多様な感覚を喚起させる興行き深い作品。

『ムーンライトハネムーン』 71分/カラー

監督: 富永太郎 (22歳/福島県出身)

男たちの滑稽さに泣き笑い

冴えない純朴な男子大学生は、美人同級生とひそかに交際中だが、ネットで彼女の着用済み下着を売って稼いでいた。性欲という魔物に支配された男たちの滑稽な哀しみよ!!

PFF Award Program

▶9/12[土]14:30～
▶9/18[金]12:00～

『ゴロン、バタン、キュー』 54分/カラー

監督: 山元 環 (22歳/大阪府出身)

釜ヶ崎のホームレスに愛を込めて

21歳のあたるは横暴な父から離れ、心優しい老人とブルーテントに暮らす。だが、やがて冷酷な現実を突きつけられる。ホームレス生活を躍動感いっぱい愛を持って描く。

『異同識別』 20分/カラー

監督: 佐々岡沙樹 (32歳/山口県出身)

細部に没頭する喜びよ！

強盗事件の証拠物件として科捜研に送られてきた大量のガムテープ。研究員たちはガムテの奥深さに分け入り、ガムテの匂いを語りだしては盛り上がる。ガムテはロマンだ!!

『海辺の暮らし』 37分/カラー

監督: 加藤正顕 (28歳/東京都出身)

英語習得と時給にこだわる浜の女

ネコムシの密漁をするハードボイルドな女は密漁監視員の男と出会う。魅力満点の人物たちと笑えるセリフ満載の天才的センスが、現実から浮遊した町のすみずみに行きわたる。

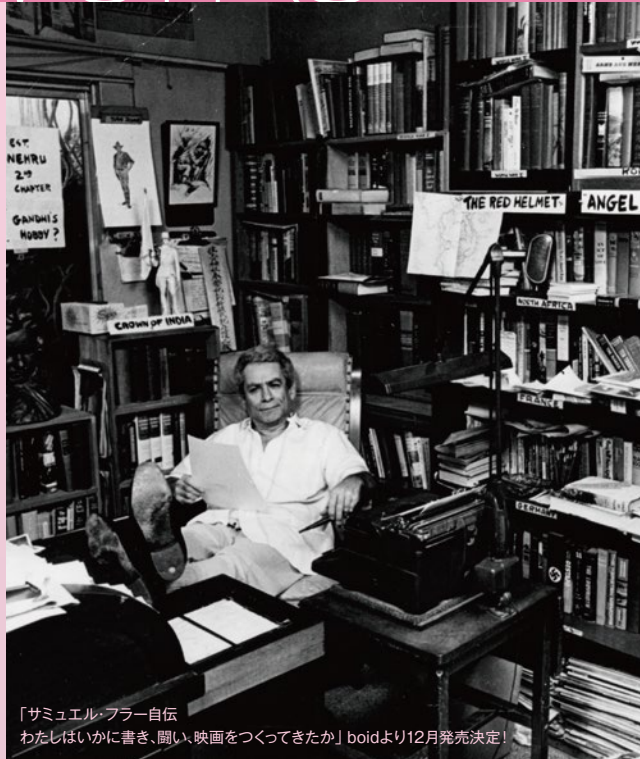
Invited Works

特集 サミュエル・フラー

～誰もが憧れた奇跡の作家～

サミュエル・フラー。1912年アメリカ生まれ。1997年没。
 ジャン＝リュック・ゴダール監督作『気狂いピエロ』に本人役で出演を乞われたフラーは次の科白を言う「映画とは戦場のようだ。それは愛、憎しみ、アクション、暴力、死、ひとことで言ってエモーションだ」。犯罪事件記者、映画脚本家、第二次世界大戦志願兵といった実体験を基に「事実が私のバイブル」という確固たる信念に基づき、映画黄金期のスタジオで大プロデューサーのもと、あり得ないほど自由で自分自身の映画を創り得たフラー。スコセッシ、ゴダール、ヴェンダース、ファスビンダー、ジャームツシュらが惚れた、参ったアメリカの偉才＝異才フラーを目撃するチャンスが、今！

©CHRISAM FILMS, INC.



「サミュエル・フラー自伝 わたしはいかに書き、闘い、映画をつくってきたか」boidより12月発売決定！

▶9/12[土]18:00～ ▶9/20[日]12:15～(小ホール)

『ベートーヴェン通りの死んだ鳩』

Tatort: Tote Taube in der Beethovenstraße
1972年/123分/カラー ディレクターズカット版

ドイツで撮られた噂の傑作、遂にヴェールを脱ぐ！

完成から40余年を経て遂に日本へ！アメリカの私立探偵がドイツで巻き込まれるクライムサスペンス。CANが音楽を担当。

Restored and funded by UCLA Film & Television Archive
©Tatort: Tote Taube in der Beethovenstraße (Bild: WDR)

日本初上映



▶9/15[火]18:30～

『最前線物語』The Big Red One

1980年/113分/カラー ※劇場公開版での上映

戦争とはつまり“個人”なのである

第二次世界大戦欧州前線を百戦錬磨の鬼軍曹と4人の新兵が生き抜く。自身の所属部隊名をタイトルにした代表作。

▶9/17[木]19:00～ ▶9/22[火・祝]16:15～(小ホール)

『東京暗黒街・竹の家』House of Bamboo

1955年/102分/カラー

戦後初の米メジャー映画日本ロケ作品

日本で暗躍する米国人ギャングを追求する米調査員との恋。白人がアジア人に扮する常識を破り山口淑子が出演した異色作。

▶9/18[金]19:00～ ▶9/23[水・祝]12:00～

『殺人地帯U・S・A』Underworld, U.S.A.

1961年/98分/白黒 ※国内未ソフト化

自分の手は汚さずに父の仇をとると男は誓った犯罪事件記者として活躍した実体験を生かし、復讐を狙う若者を通し暗黒街の組織とビジネスの現実を写す。



▶9/19[土]12:00～(小ホール) ▶9/22[火・祝]13:45～(小ホール)

『フラーライフ』A Fuller Life

2013年/80分/カラー&白黒 ※特別上映

フラーを通してアメリカ史を、映画史を体験娘サマンサが、父を敬愛する人々と共に創り上げたドキュメンタリー。アメリカの歴史とフラーの映画人生がクロスする！

日本初上映



▶9/20[日]15:00～(小ホール) ▶9/23[水・祝]16:30～

『ストリート・オブ・ノー・リターン』

Street of No Return 1989年/93分/カラー

最後の映画となったフラー流メロドラマを堪能街のボスの愛人と恋に落ち喉を切られた人気歌手マイケルは今やアル中のホームレス。復讐のチャンスに遭遇した彼は……。



▶9/20[日]17:15～(小ホール) ▶9/22[火・祝]11:30～(小ホール)

『ホワイト・ドッグ』White Dog

1982年/90分/カラー

アメリカで公開禁止となった問題作

黒人だけを襲うよう躾けられた犬を知らずに飼うことになった女優。ロマン・ガリ原作、クリスティー・マクニール主演。



映画内映画

～映画は映画をつくることをどのように描いてきたか～

古今東西、映画の製作現場を映画で描くこと、の熱はやむことがありません。本企画では、鈴木卓爾監督と長崎俊一監督の新作をご紹介しますとともに、名作の誉れ高い森崎 東監督の『ロケーション』とそのなかで眩かれる『アメリカの夜』を上映します。PFFでは、1982年にフランソワ・トリュフォー監督を迎えての特集を実施しましたが、それから33年、久々のトリュフォー作品の上映です。この企画で、映画作りの喜びと苦しみと“何か”を浴びてください。

▶9/16[水]18:30～



『ロケーション』

1984年/99分/カラー

監督：森崎 東

女優を妻に持つピンク映画カメラマンと、脚本を変えながら、映画を完成させるロケ隊の姿を笑いと涙で綴る。ホントとウソが交錯する構造が、絶妙な臨場感を生み出す傑作。

©1984 松竹株式会社

▶9/19[土]10:30～ トーク予定：鈴木卓爾監督×諏訪敦彦監督



『ジョギング渡り鳥』

2015年/159分/カラー

監督：鈴木卓爾

母船が壊れ、地球から帰れなくなったモコモコ星人たち…登場人物がカメラを回し、マイクを握る。爽快感あふれる感動のラストシーンは必見！映画制作の可能性を探る意欲作。

プレミア上映

▶9/19[土]14:45～



『アメリカの夜』

1973年/115分/カラー

監督：フランソワ・トリュフォー

フランスの撮影スタジオを舞台に、現場で次々に起こるトラブルと、人間模様をコミカルに描いた群像劇。世界中で愛され続ける、トリュフォーの映画愛と情熱が詰まった名作。

©1973.Renewed ©2001 Les Films du Carrosse S.A.

▶9/22[火・祝]18:00～ トーク予定：長崎俊一監督×渡部 真撮影監督



『唇はどこ?』

2015年/100分/カラー

監督：長崎俊一

映画に出演するため集まった5人の学生。リハーサルでダメ出しを浴び、衝突しながら、自分と、映画と、向き合っていく。自主映画の本質に迫る、エキサイティングな1本。

プレミア上映

特別企画

世界が絶賛した日本の短編たち

▶9/20[日]18:00～

近年世界を騒がせ、受賞の相次ぐ短編映画を一挙上映します。「短編映画」とは何か、このプログラムでその存在に新たな注目が集まることを願ってやみません。 ※監督の来場も予定しています。

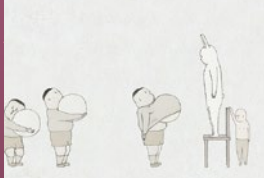


『663114』

2011年/8分/カラー

監督：平林 勇

実写やアニメーションの短編で世界三大映画祭を制した平林監督の人氣作。短編の可能性に最も自覚的な作家に注目！



『グレートラビット』

2012年/7分/カラー

監督：和田 淳

グレートラビットとは何か？「間」と「気持ちいい動き」を大きなテーマに置く世界が注目するアニメーション作家の話題作。

©Sacrebleu Productions - CaRTe bLaNcHe - Atsushi Wada



『Oh Lucy!』

2014年/21分/カラー

監督：平柳敦子

昨年のカンヌを湧かせた桃井かおり主演作。ルーシーという名前と金髪のカツラで英会話の授業を受けるうちに変わっていく女。

Copyright © 2015 Oh Lucy! All Rights Reserved.



『最後の天使』

2014年/33分/カラー

監督：伊藤高志

世界で最も有名な実験映画作家の最新作は、存在の不確かさ世界の不条理を透明な諦観と共に言葉のない雄弁さで活写する。



『顔山』

2002年/10分/カラー

監督：山村浩二

落語「あたま山」がアニメーションで驚愕の展開を！浪曲師・国本武春が物語るアイデアと圧倒的な画力に米アカデミーも仰天。

©Yamamura Animation

【PFF講座シリーズ】 映画のコツ ～こうすればもっと映画が輝く～

映画を構成する様々な要素について更に意識的になることを願うPFF講座シリーズ。これまで、映画の「音」、映画の「撮影」、「映画監督への道」と続けてきたこのシリーズ。今年は視覚の大きなキーである「美術」と、映画の総合的なリーダー「プロデューサー」について迫ります。

▶9/13[日] 17:30～ **対談**
「21世紀から観る小津安二郎の映画と空間」



撮影：周松隆 撮影：下村一喜
種田陽平 美術監督 **周防正行** 監督



監督：小津安二郎
出演：中村陽治郎、原 節子、小林桂樹

1984年公開当時、低予算のピンク映画にもかかわらず大きな話題を呼んだ周防正行監督の「変態家族 兄貴の嫁さん」。小津映画にオマージュを捧げたこの映画の美術は、一般映画で助手として仕事をしてきた種田陽平氏だった。出会いから30年たった今、この二人が、小津映画独特の美術、また、映画と映画美術の関係について対談する。上映は、小津安二郎監督が唯一東宝に招かれオール東宝スタッフで撮ったアグファカラーの美しいオールスター映画「小早川家の秋」。

with English subtitle *英語字幕版での上映
(参考上映作品)『小早川家の秋』
1961年/103分/カラー

▶9/19[土] 17:45～ **対談**
「撮影所なき時代に映画をつくる方法」



伊地智 啓 プロデューサー **濱口竜介** 監督



監督：渡邊孝好
出演：萩原健一、山口智子、室井 滋

相米慎二作品ほか100作品以上を手がけた伊地智 啓プロデューサーは、日活の助監督から監督に昇進する直前に会社の路線変更により、その後を新時代のプロデューサーとして駆け抜ける。ロマンポルノから独立プロへと続く多彩なフィルムグラフィックから、淀川長治氏絶賛のエンターテインメント映画(萩原健一主演！西島秀俊デヴュー!)を上映し、ユニークな活動を続ける若手監督濱口竜介氏が聞き手になり、撮影所の映画と現在の映画の違い、そして、これからの映画を探る。

(参考上映作品)『居酒屋ゆうれい』
1994年/117分/カラー

Point 5 サプライズ上映作品決定! [招待作品部門]映画内映画：「闇打つ心臓」(長崎俊一監督)、「ひと夏のファンタジア」(チャン・ゴンジュ監督)の2作品と [PFF講座シリーズ]映画のコツ：「変態家族 兄貴の嫁さん」(周防正行監督)の計3作品が決定! 詳細はホームページで!!

第37回 PFF 検索

Ticket

「第37回PFF」チケット料金表(全席指定制)

分類	Pコード	前売券	当日券						
			一般	高校・大学 シニア	キャンパス メンバーズ (教職員)	キャンパス メンバーズ (学生)	小・中学生	障害者 介添者	
入場券	PFFアワード2015	554-610	1,000円	1,300円	800円	800円	700円	520円	520円
	PFFアワード表彰式	554-610	1,500円	1,800円	1,400円	1,800円	1,300円	1,000円	1,000円
	PFFアワードフリーパス(限定20枚)	466-323	7,000円	—	—	—	—	—	—
作品招待	特集 サミュエル・フラー 映画内映画/日本の短編たち	554-611	1,300円	1,600円	1,000円	1,000円	900円	520円	520円
	映画のコツ	554-612	1,000円	1,300円	800円	800円	700円	520円	520円
		映画内映画	554-727	1,300円	1,600円	1,000円	1,000円	900円	520円
上映作品	映画のコツ	554-727	1,000円	1,300円	800円	800円	700円	520円	520円

前売券はチケットぴあにて絶賛発売中!

「前売券の販売について」
○チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブンイレブンの店舗で直接購入する場合、発売手数料として108円/枚がかかります。
○インターネット、電話予約にて購入された場合、発売手数料およびシステム使用料として、324円/枚がかかります。
チケットぴあ音声認識予約:0570-02-9999
インターネットで購入: pia.jp/t
○前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

「当日券の販売について」
○当日券の有無は、各上映の前日にフィルムセンターのホームページで確認することができます。
<http://www.momat.go.jp/>
○学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は証明できるものをご提示ください。障害者介添者は原則1名まで障害者と同じ料金でご入場いただけます。
○国立美術館キャンパスメンバーズの方は、学生証・職員証のご提示により当日料金が割引になります。
○「前方」「中央」「後方」のいずれかを選んでご購入いただけますが、ご希望に添えない場合がございます。

Point 6

- 知らなきゃ損! PFFのチケットまとめ!!**
- 【前売券篇】**
チケットぴあ(店舗、インターネット、電話予約)、サークルK・サンクス、セブンイレブンで販売
- 上映日の2日前まで購入可能。(ただし電話予約は5日前まで)
 - 前売券を持っていれば、**万が一遅れても入場可能です。**
 - 学生は、**当日券が最安値**=大幅割引料金で鑑賞可能。ただし、前売券発売の場合、当日券の販売はないので注意。
 - PFFアワードをたくさん観るなら、限定フリーパスがお得! なんと、**貴重な表彰式チケット**と、さらに**映画祭カタログ**もついてくる!**(前売りのみ/20枚限定販売)**
 - 表彰式などの人気プログラムはプレリザープで確実に!
- 【当日券篇】**
東京国立近代美術館フィルムセンター 1F当日券窓口のみで販売
- 当日券は**各回上映の30分前から1F窓口にて販売。**
 - 開映後、当日券の販売は**終了。**
 - 遅れて来ると**購入できません。**ただし、**前売券を持っていれば特別に入場が可能になります。**
 - 各回1名につき1枚の販売というルールがあります! 複数のチケットをひとりがまとめて購入ができません。
*前売券ならもちろん複数購入可能。



第23回PFFスカラシップ作品
『**過ぐる日のやまねこ**』 鶴岡慧子監督
2015年9月19日[土]より、渋谷・ユーススペース、長野県・上映映劇にてロードショー決定!

Time Table

G...ゲスト来場予定(8/27現在)。ゲスト続々決定中! 最新情報はHPをチェック!
開場は開演時間の15分前を予定。**ほぼ毎回開始時間が変わります。ご注意ください!**

日	ホール	11:00~	14:30~	18:00~
9.12	大ホール	PFFアワード Aプログラム 「モロトリアム・カットアップ」 「マイフォーム」【ムーンライトハネムーン】	PFFアワード Bプログラム 「ゴロン、パタン、キュー」 「異同識別」【海辺の暮らし】	特集 サミュエル・フラー 「ベートーヴェン通りの死んだ鳩」 日本初上映
13	日	PFFアワード Cプログラム 「嘘と汚れ」 「わたしはアーティスト」	PFFアワード Dプログラム 「チェンゲリア」【大村植物標本】 「THE ESCAPE」	映画のコツ 種田陽平美術監督×周防正行監督 対談 参考上映作品「小早川家の秋」
14	月	休館日		
15	火	PFFアワード Fプログラム 「したさきのさき」【船】 「帰って来た珈琲隊長」	PFFアワード Eプログラム 「いざなり」 「幽霊アイドルこはる」	18:30~ 特集 サミュエル・フラー 「最前線物語」
16	水	PFFアワード Gプログラム 「あるみち」 「甘党革命 特定甘味規制法」	PFFアワード Hプログラム 「ひとつのバガテル」 「みんな蒸してやる」	18:30~ 映画内映画 「ロケーション」 監督:森崎 東
17	木	大ホール PFFアワード Dプログラム 「チェンゲリア」【大村植物標本】 「THE ESCAPE」	PFFアワード Aプログラム 「モロトリアム・カットアップ」 「マイフォーム」【ムーンライトハネムーン】	19:00~ 特集 サミュエル・フラー 「東京暗黒街・竹の家」
18	金	PFFアワード Bプログラム 「ゴロン、パタン、キュー」 「異同識別」【海辺の暮らし】	PFFアワード Cプログラム 「嘘と汚れ」 「わたしはアーティスト」	19:00~ 特集 サミュエル・フラー 「殺人地帯U・S・A」
19	土	小ホール 10:30~ 映画内映画 「ジョギング渡り鳥」 上映後トーク予定 鈴木卓爾監督×諏訪敦彦監督 12:00~ 特集 サミュエル・フラー 「フラーライフ」 日本初上映	14:45~ 映画内映画 「アメリカの夜」 監督:フランソワ・トリュフォー	17:45~ 映画のコツ 伊地智 啓プロデューサー×濱口竜介監督 対談 参考上映作品「居酒屋ゆうれい」
20	日	大ホール 11:00~ PFFアワード Hプログラム 「ひとつのバガテル」 「みんな蒸してやる」	PFFアワード Gプログラム 「あるみち」 「甘党革命 特定甘味規制法」	18:00~ 世界が絶賛した日本の短編たち 「663114」【Oh Lucy!】 「グレートラビット」【最後の天使】 「頭山」
21	月	小ホール 12:15~ 特集 サミュエル・フラー 「ベートーヴェン通りの死んだ鳩」 日本初上映	15:00~ 特集 サミュエル・フラー 「ストリート・オブ・ノー・リターン」	17:15~ 特集 サミュエル・フラー 「ホワイト・ドッグ」
22	火祝	大ホール 11:00~ PFFアワード Eプログラム 「いざなり」 「幽霊アイドルこはる」	PFFアワード Fプログラム 「したさきのさき」【船】 「帰って来た珈琲隊長」	18:00~ 映画内映画 「唇はどこ?」 上映後トーク予定 長崎俊一監督×渡部 眞&撮影監督
23	水祝	小ホール 11:30~ 特集 サミュエル・フラー 「ホワイト・ドッグ」	13:45~ 特集 サミュエル・フラー 「フラーライフ」 日本初上映	16:15~ 特集 サミュエル・フラー 「東京暗黒街・竹の家」
24	木	大ホール 12:00~ 特集 サミュエル・フラー 「殺人地帯U・S・A」	14:30~ 映画のコツ/サプライズ上映! 「変態家族 兄貴の嫁さん」 監督:周防正行	16:30~ 特集 サミュエル・フラー 「ストリート・オブ・ノー・リターン」

Point 7
昨年の特集監督 羽仁 進監督によるサイン会の様子



Point 7
監督やキャストと交流!
カタログを買って、サイン会に参加
書き下ろし含む、読み応え充分の公式カタログで映画祭をもっと知ろう!

Point 8
フィルムセンター7F展示室で、**日本映画の歴史を知ろう!**
PFF期間中は展覧会「生誕110年 映画俳優 志村喬」を開催中!

